


## 地域情報化アドバイザープロフィール

ふりがな	はたい かつひこ	
氏名	畑井 克彦	
所属・役職	関西学院大学 非常勤講師 関西 SDGs プラットフォーム 共育分科会 会長	
活動拠点		
略歴	<p>昭和53年4月 伊丹市立天王寺川中学校教諭</p> <p>平成6年4月 伊丹市教育員会事務局指導主事（情報システム担当、WAN 構築）</p> <p>平成13年・14年文部科学省委嘱事業「ネットデイの進展に関する調査研究」委員</p> <p>平成14年文部科学省委嘱事業「海外日本人学校におけるネットデイの実施に関する調査研究」委員</p> <p>平成15年4月 伊丹市立伊丹高等学校教諭 情報科主任（平成27年度まで）</p> <p>平成18年4月 関西学院大学 非常勤講師（平成25年度まで）</p> <p>平成20年総務省委嘱事業「地域情報化アドバイザー」委員（継続）</p> <p>平成28年4月 阪神・智頭 NPO センター 代表理事</p> <p>平成28年9月 大阪産業大学 非常勤講師（継続）</p> <p>令和元年9月 関西 SDGs プラットフォーム 共育分科会会長（継続）</p> <p>令和2年4月 関西学院大学 非常勤講師（継続）</p>	
地域情報化の 専門分野・技術	<p>若者の「地域を元気にする力」育生支援</p> <p>若者の可能性を、地域の教育機関（学校・大学）と連携して引き出す。</p> <p>大学生・、高校生・中学生などの若者を企画主体として地域活性化を行う仕組みのアドバイスを行う。地域や教育機関との連携を図り、次世代の地域を支える人材育成についてアドバイスする。</p> <p>地域のつながり基盤の構築支援</p> <p>多様な人のつながりの構築支援を行うことが専門。</p> <p>伊丹市の情報基盤を構築した経験や、NetDay での地域住民を巻き込んだネットワーク構築や教育分野で地域 SNS の活用実績をいかして、地域住民をつなぐネットワーク構築をアドバイスする。</p>	
専門分野	教育情報化／情報教育 地域ビジネス 観光	
自治体向けメッセージ	<p>大震災の教訓から、若者をコアとしたネットワークが地域活性化の大きなパワーとなることに着目し、人のつながりを日常的に強めていく活動を情報化の視点から支援する。</p> <p>具体的な事例として、高等学校では地域 SNS を活用し、若者の力と地域の力の相互作用による地域活性化が効果を生み出した。高校生の「社会に</p>	

	<p>関わることで社会を少し動かせるのではないか」という意識の変化が見えた。現在、大学生が地域活動に関わることで地域住民が覚醒される取り組みを進めている。</p> <p>「関係性」を深める地域活性化を求めている自治体はご連絡ください。</p>
関連サイト	<p><a href="https://www.facebook.com/katuhiko.hatai.3">https://www.facebook.com/katuhiko.hatai.3</a></p> <p>伊丹地域 SNS 「いたまち SNS」 <a href="http://sns.itamachi.jp/">http://sns.itamachi.jp/</a></p>
地域情報化に関する実績	<p><b>【経験業務】</b></p> <p>平成6年度から平成15年度まで伊丹市教育委員会指導主事として、伊丹市のWAN構築に取り組む。市内の全校をネット接続し活用を促進する。また、伊丹市の行政ネットワーク構築にも関わる。</p> <p>平成9年からネットデイ (Net Day) という学校をインターネット接続する活動に取り組んだ。これは情報社会における学校を核とした地域おこし活動であり、日本全国50か所以上の学校の支援を行った。ベトナムのハノイの日本人学校でも実施。このネットデイは内閣府の政策パッケージとして実施され完了となった。</p> <p>平成15年から平成27年まで、地域SNSを高等学校の情報科に取り入れた実践を通じて、地域で地域住民と高校生が共に育つ「共育」を実践。高大連携でPBLを地域活性化で実施。</p> <p>令和2年度、三田市における地域活性化を関西学院大学の講義を自主運営することを通じて実施。講義間連携と三田市の地域文化施設が協働する動きを産み出している。</p> <p><b>【研究活動】</b></p> <p>「ネットデイで学校革命—教育改革・次世代社会の切り札—」共著、学事出版（平成12年）</p> <p>『いたみ商店街活性化プロジェクト—伊丹がすきやねん！という市民意識を持った生徒の育成—』単著、日本文教出版（平成17年）</p> <p>『地域活性化の2つのコア、高校生と地域SNS』共著、日本情報科教育学会（平成20年）</p> <p>『情報社会で生きていく力の育成に関して』単著、コンピュータ利用教育協議会（平成22年）</p>
	<p>これまでに関与した地域情報化に関するプロジェクト</p> <p>平成20年度 平成筑豊鉄道 「SNSの活用と地域連携について」（田川市）</p> <p>平成21年度 伊丹市中央サンロード商店街組合、アーケード改修、「商店街での地域住民との連携について」企画、その後のコンテンツ開発アドバイス（伊丹市）</p> <p>平成22年度 鳥取県智頭町、町内LANの構築に関しての、地域SNSの活用について</p> <p>平成23年度 鳥取県智頭町 若者を核とした域活性化（智頭町）</p> <p>平成24年度 デジタルサインエージ（伊丹市）、若者による市内回遊性の創出（伊丹市）</p> <p>平成25年度 ふくおか IT Workouts（福岡県）、フューチャーながと（山口県長門市）</p> <p>シーズとニーズのマッチング（九州産業大）</p> <p>県立高校を地元町が支援する仕組み構築（鳥取県智頭町）</p> <p>平成26年度 ふくおか IT Workouts（福岡県）</p>

	<p>       県立高校を地元町が支援する仕組み構築（鳥取県智頭町）        平成27年度 ふくおか IT Workouts（福岡県）        集団力学地域塾（福岡市）        平成28年度 ふくおか IT Workouts（福岡県） 地域課題を複数拠点による相互作用性を活かし、ソフト開発+地域ネットワークづくり        関西学院大学高等部 SGHにおける支援        兵庫県立柏原高等学校 探求学習支援        平成29年度 ふくおか IT Workouts（福岡県）        大阪富田林市 若者の社会デビューについて講演        平成30年度 ふくおか IT Workouts（福岡県）        福岡県赤村 学生による地域活性化支援        福岡県・佐賀県 筑後川クロスロード協議会 地域ネットワークのインフラ構築について        啓明学院高等学校、校内インフラ整備及び授業活用について支援        令和元年度 ふくおか IT Workouts（福岡県）        福岡県久留米市 学生による地域活性化支援        兵庫県伊丹市 神津小学校 地域による教育課程協働支援        令和2年度 関西学院大学と三田市との連携による地域活性化推進        三田市の地域課題を通じて地域活性化を推進        兵庫県伊丹市 神津小学校 地域による教育課程協働支援        令和3年度 関西学院大学と三田市との連携による地域活性化推進        三田市の地域課題を通じて地域活性化を推進     </p>
--	---